

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		UD・男女共同参画課
	04	03	01	07	01	

政策
自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実現

政策の内容

年齢、性別、能力、国籍などの違いに関わらず、市民1人ひとりが社会の担い手として自立し、相互に尊重しつつ支えあいながら自由に社会参加することができるように、多様性の理解や環境整備を進め、誰もが安心して快適に暮らすことができるユニバーサル社会の実現を目指します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
地域における活躍	あなたの暮らしている地域では、年齢や性別などにかかわらず誰もが活躍できていると感じますか。	2.68	2.73				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・第3次浜松市UD計画・第1期推進計画(2022年度～2026年度)に基づき、全庁体制でUDを推進している。
- ・2025年度は、第2期推進計画策定のための市民意識調査を行う。
- ・2024年度の市民アンケートでは、UDの理解度は41.2%となり、昨年より5.1ポイント向上した。年代別では18歳～29歳の理解度が75.2%と最も高く、70歳以上が21.7%と最も低かった。年代が上がるにつれて理解度は下がる傾向にあるが、これは小中学校でのUD学習支援の成果と考えられる。
- ・多様性と向き合うための心のUDの醸成及びUD推進を市民協働で担うための人材育成が必要である。
- ・本市が2000年にUDに着手してから25年が経過した。その間、UD条例やUD計画をはじめ、公共建築物や道路施設のUD指針など様々な指針やマニュアルが整備され、民間施設においてもUDに配慮することが当たり前になりつつあることを踏まえて、今後のUDの取組や施策のあり方を検討していく。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	9,953				
決算	8,869				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	3.4				
会計年度任用職員	1.9				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
ユニバーサルデザイン推進事業	1 ユニバーサルデザイン学習支援の推進 主に小中学生等に対して、ユニバーサルデザインの「基本を学ぶ」、「体験する」、「知識を広める」といった体系的な学習機会を提供する。	5,067
	2 ユニバーサルデザインの啓発推進 ユニバーサルデザインの啓発を行うとともに、市民協働でユニバーサルデザインを推進するための人材育成を実施する。	4,428
UD・男女共同参画デジタル運営経費	1 ICTを活用した コミュニケーション支援事業 窓口等における、障がい者、高齢者、外国人等との円滑なコミュニケーションを図るための環境づくりを行う。	4,886
	2 UD学習用デジタル教材の提供 小中学生が楽しみながらUDを学ぶことができるデジタル教材を提供する。 3 あいホールオンライン相談システムの利用 あいホール相談室において、SNSを活用したオンライン相談を実施し、相談者がより相談しやすい環境を整備する。	4,441

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
小中学校、高校 へのUD学習支 援事業実施回数 (回)	UD出前講座等の実施 回数	市民アンケートでは若年層ほど ユニバーサルデザインの理解 度が高い結果が出ており、小中 学生向けのUD学習支援は 「UDの理解度」の指標の向上 に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	120	120	120	120	120
			実績値	106	118				
			達成率	-	98%				
UD学習支援ガイ ド養成講座受講 者数(人)	UD学習支援ガイドの養 成にかかる講座の受講 者数	セミナー受講者数の実績を表す 指標であり、市民協働によるU Dの推進に寄与すると見込んで いる。	目標値	-	50	50	50	50	50
			実績値	60	49				
			達成率	-	98%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
ユニバーサルデ ザインの理解度 (%)	市民アンケートにおいて ユニバーサルデザイン の名称、内容ともに知っ ていると回答した人の割 合	ユニバーサルデザイン啓発事 業の成果を表す指標であり、実 績値の上昇により「ユニバー サルデザインによるまちづくりに 対する市民満足度」の向上につな がると考えられるため。	目標値	-	42	44	46	48	50
			実績値	41.2	37.4				
			達成率	-	89%				
UD学習支援ガイ ド登録者数(人)	UD学習支援ガイド登録 人数	市民協働によるUD推進を担う 人材の数を表す指標であり、実 績値の上昇により「ユニバー サルデザインによるまちづくりに 対する市民満足度」の向上につな がると考えられるため。	目標値	-	32	35	38	41	44
			実績値	29	31				
			達成率	-	97%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
ユニバーサルデザインによるまちづくりに対する市民満足度(%)		ユニバーサルデザインによるまちづくりに「満足している」、「どちらかと言えば満足」と回答した人の割合 ※市民アンケートにより ※毎年度算出	実績値	19.1	15.4					25
			達成率	76%	62%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

誰もが分けへだてなく、地域コミュニティの中で活躍し、市民、市民活動団体、事業者、市が協働してまちづくりを行っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
ユニバーサルデザイン推進事業	1 ユニバーサルデザイン学習支援の推進 主に小中学校からの求めに応じて、出前講座等を118回実施し、延べ9,475人が受講するなど、ユニバーサルデザインを体系的に学習する機会を提供した。 2 ユニバーサルデザインの啓発推進 UD市民リーダー育成の講座を延べ49人が受講し、またアクト通りのUD施設見学にリーダーを15回派遣するなど、市民団体・事業者等と協力・連携した啓発事業の実施により、市民協働によるユニバーサルデザイン啓発を推進した。	引き続き、体系的な学習機会を提供するとともに、市民協働によるユニバーサルデザインの推進に努める。
UD・男女共同参画デジタル運営経費	1 ICTを活用したコミュニケーション支援事業 窓口等で障がい者、高齢者、外国人等と円滑なコミュニケーションを図るため、多言語対応の文字起こしアプリが入ったタブレット端末を市役所・区役所・行政センターに合計9台整備した。 2 UD学習用デジタル教材の提供 小中学生が楽しみながらUDを学ぶことができるデジタル教材を提供するため、市内の専門学校と連携して、開発の検討を行った。 3 あいホールオンライン相談システムの利用 あいホール相談室において、SNSを活用したオンライン相談を実施し、1,070件の相談に対応した。	ICTを活用したコミュニケーション支援事業については、窓口等でタブレット端末の利活用が進むように、周知を図る。 UD学習用デジタル教材については、引き続き市内の専門学校と連携を密にし、2026年度内の供用開始に向けて調整を行う。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

ユニバーサルデザイン推進事業については、事業活動や活動指標、短期成果指標の進捗はおおむね順調であった。引き続き、市民協働による啓発事業を実施するなど、ユニバーサルデザインの推進に努める。

UD・男女共同参画デジタル運営経費については、ICTやデジタルを活用した啓発や相談体制の環境づくりを行うことができた。引き続き、ICTやデジタルを活用した啓発や相談体制を強化するとともに、一層の活用に向けた周知に努める。